

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」・「学習状況調査」の結果をお知らせします

## 文部科学省「全国学力・学習状況調査」

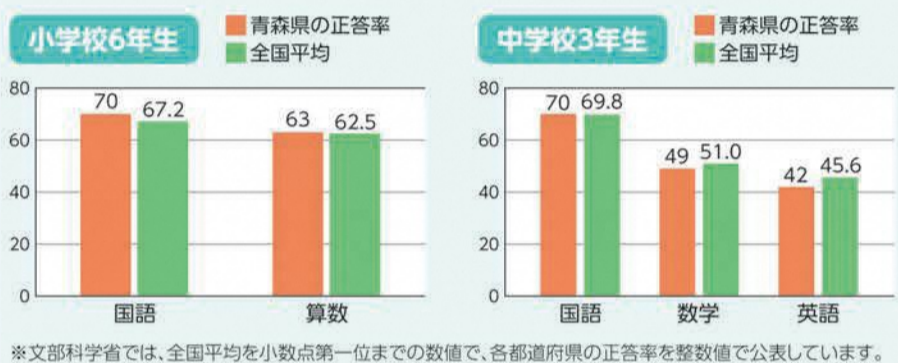
令和5年4月18日(火)実施

- 調査を実施した教科  
小学校6年生:国語・算数  
中学校3年生:国語・数学・英語
- ICT端末を活用し、英語の「話すこと」に関する調査をオンラインの音声録音方式で実施
- 学習意欲や学習方法等について児童生徒や学校に尋ねる質問紙調査を実施



今回の調査結果では、教科によって差はあるものの、全体を平均してみると、小学校6年生ではおよそ6割、中学校3年生ではおよそ5割を上回る正答率でした。

また、児童・生徒質問紙調査における、本県児童生徒の学習の状況では、各教科の学習に対する意欲を示す割合や、主体的・対話的で深い学びに取り組んでいると実感している割合が、全国平均と同程度でした。正答率が低かった教科においても、各学校において児童生徒が主体的に学習に取り組むよう指導改善が図られており、学習への意欲は向上していると考えられます。



## 県教育委員会「学習状況調査」

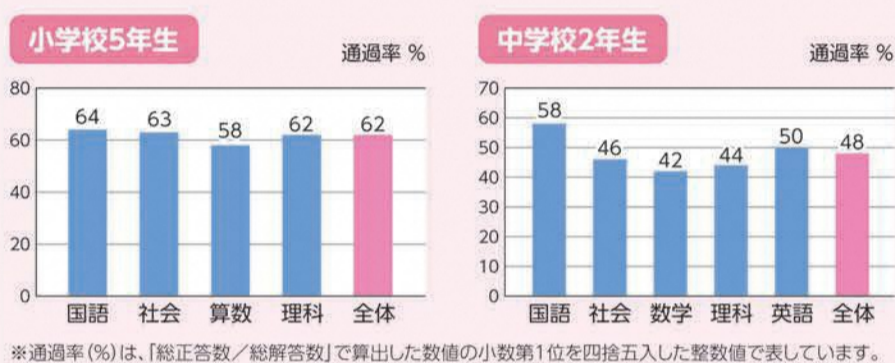
令和5年8月30日(水)実施

- 調査を実施した教科  
小学校5年生:国語・社会・算数・理科  
中学校2年生:国語・社会・数学・理科・英語
- 学習指導要領が示す「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を問う問題を出題
- 各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、情報を精査して考えを形成することを重視した問題を各教科において出題
- 質問紙調査(3年毎に実施)を、ICT端末によりオンラインで実施



今回の調査結果では、本県の小学校5年生、中学校2年生の学力の状況は、教科や内容によって成果や課題はあるものの、教科全体を平均してみると、小学校ではおよそ6割、中学校ではおよそ5割程度の通過率でした。

また、学習に対する意識や実態に関する調査では、「課題解決に自ら取り組み、対話を通じて自分の考えを深め広げている」と回答した割合が8割程度でした。この結果から、各校においてこどもの興味を引き出し、仲間と協力して解決する授業づくりが行われていると捉えています。



県教育委員会HPからダウンロードできます

全国学力・学習状況調査  
本県の結果と今後の対策



学習状況調査  
実施報告書



問 学校教育課 小中学校指導グループ  
TEL. 017-734-9895

# 学ぼう! 体験しよう! わたしたちの地域の文化財

## ～小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業～

県教育委員会では令和3年度から、小学生が縄文遺跡をはじめとする地域の文化財について学習・体験活動を行う「小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業」を実施しています。本事業を通じて、子どもたちに地域の文化財の価値や魅力を知ってもらうとともに、将来的に文化財の保存・活用に携わる人材の育成につなげていきます。

地域の文化財に関する学習・体験活動(令和5年度の実施状況) 学習・体験したことを様々なかたちで発表します

### つがる市立森田小学校

地元だけではなく、市外の文化財にも触れ、地元文化財の良さを紹介します。



### むつ市立大湊小学校

学芸員の説明を基に、自分たちで考えた言葉で、文化財を紹介します。



### 階上町立道仏小学校

地域の保存団体から道仏神楽を学び、町主催のイベントで発表します。



### 取組スケジュール

県内6小学校を2つのグループに分け、講座や学習・体験活動を実施します。

R3	●学習・体験プログラム検討会議の開催 ★地域の文化財に関する講座の開催 ・外ヶ浜町立三蔵小学校 ・弘前市立西小学校 ・七戸町立天間林小学校
R4	★地域の文化財に関する講座の開催 ・つがる市立森田小学校 ・むつ市立大湊小学校 ・階上町立道仏小学校 ★地域の文化財に関する学習・体験活動 ・上記Aグループの小学校
R5	★地域の文化財に関する学習・体験活動 ・上記Bグループの小学校 ●学習・体験プログラム集の作成 ・県内6小学校の活動内容をまとめます

本事業で実施した県内6つの小学校の取組事例等を掲載した「学習・体験プログラム集」を作成します。

問 文化財保護課 文化財グループ TEL. 017-734-9920